取り組み方の例　4月30日（木）

四月三十日（木）

「漢字の音と訓」

へめあて〉

漢字の音と訓について知り、音と訓のつかい分けができるようになろう。

朝

（音）チョウ　早朝

（訓）あさ　朝顔

朝

へ大切〉

「音」…中国からつたわってきた読み方。

聞いただけでは意味の分かりにくいもの

が多い。

「訓」…日本でつけられた読み方。

聞いて意味の分かるものが多い。

取り組み方の例　5月1日（金）

1

へれんしゅう〉

●公園（こうえん）→音と訓　音と音

●水（　）↓

●一分（　）

●話（　）

●毎日（　）

●近道（　）

2

●（例）地下に立ち入りきんしのふだを下げる。

●線が引かれている漢字と読み方を書きましょう。

●音と訓のどちらが使われているかよそうを書きましょう。

●一四八ページを見て、音と訓をたしかめましょう。

（まちがっていたら、赤で正しい答えを書きましょう。）

●音と訓のどちらも使って、文を作りましょう。

●教科書にある四つの漢字のほかにも、

音と訓の両方を使った文を考えてみるのもいいですね。